

企画名	冬水田んぼで田植えをしよう
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇 TEL : 090-2234-5610 Email : info@teganuma-trust.jp ホームページ : http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらおう連続企画の第1弾。地域住民の力で里山を保全します。
日時	2024年5月11日(日) 8:30~12:00
プログラム・概要・ルート等	冬でも水をはっておく冬水田んぼは、田んぼをめぐる生きものにやさしい田んぼです。そんな生態系保全型の田んぼで、子どもたちを含む地元住民の参加を得て、田植えをしました。 子ども部会と外部参加者は千葉の新種・粒すけを植えました。田植え終了後、泥んこリレー・泥んこ相撲が開催され、おおいに盛り上がりました。
参加対象	一般市民
参加人数	一般参加 53名 (大人 26名、小学生 18名、幼児 9名)、トラスト会員 144名 (大人 103名、小学生 23名、幼児 18名)、スタッフ 7名 計 204名



腰が痛くなるなあ。



よい苗ができました。



やりはり盛り上がりします



泥んこ相撲

参加者や実施団体の感想	泥んこリレーが楽しかった。 相撲で負けてしまって悔しかった。 親子で楽しい体験をさせてもらいました。来年も参加したい。
-------------	---

企画名	手賀沼親子自然観察会 – 手賀沼用水路で魚とり！（我孫子）
実施団体	団体名 手賀沼水生生物研究会 問合せ先 半沢裕子 TEL: 090-7243-6720 Email: fukuchang23@yahoo.co.jp ホームページ: http://suiken.teganuma.org/
目的	手賀沼の水辺の生きものについて、子どもたちや親に知ってもらう。
日時	2024年6月8日（土）10:00～12:00 手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと
プログラム・概要・ルート等	<ul style="list-style-type: none"> 鈴木盛智代表から本日の予定、講師の萩原富司さん(魚類研究者)から魚のとり方、モンドリやガサガサの説明。 モンドリを仕掛ける ⇒タモ網で魚採り ⇒モンドリを引き上げ ⇒魚の分類。 講師の萩原富司さんによる解説。採れた魚やエビについて、魚の見分け方、外来種(外国産、国内移入種)はどれか、どこから来たのかなど。
参加対象	小学生以下は親子参加
参加人数	一般参加 49名 17家族(大人22名、子ども27名) スタッフ 11名(会員10名、講師1名) 計60名




(左上)講師による生きもの解説 (左下)「これは何?」会員が仕分けをお手伝い (中)何がとれたかな。親御さんのほうが夢中になることも (右)特定外来生物ナガエツルノゲイトウで埋め尽くされた水路。水質も悪くなっていると思われる。

参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> 熱心な応募してくれるご家族が多く、当選がむずかしいにもかかわらずリピートしてくれる家族も増えている。 週前半曇りがちで心配したが、当日は快晴で気温が上がり、熱中症が心配された。 昨秋、大量に増えていた開催場所のナガエツルノゲイトウはさらに増え、橋と橋の間をほぼ埋め尽くしていた。 毎年、この時捕獲できる生き物数は少ないが、今年はさらに種類も数も少なく心配な状況だった。ハゼ類が1匹も確認されなかったのはイベント開始(2006年)以来初。 <p>〈この日確認した水生生物〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 在来種/モツゴ、ギンブナ、ミナミメダカ、ドジョウ、スジエビ、トンボヤゴ(シオカラトンボ又はオオシオカラトンボ)、 国内外来種/ヌマガエル 国外外来種/コイ、タイリクバラタナゴ(重点対策外来種)、カダヤシ(特定外来生物)、アメリカザリガニ(条件付き特定外来生物)、シナヌマエビ、
-------------	---

企画名	かかし作り・かかし祭り
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇 TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで作ったお米を守るかかしを作る。 かかし作りを通して、自然と共生する米作り・地域作りを身近に感じてもらう。
日時	① かかし作り・・・2024年7月6日(土) 8:30～12:00、7月20日(土) 8:30～12:00(会員) ② かかし祭り・・・2024年8月17日(土)9:00～11:30
プログラム・概要・ルート等	7月6日の外部参加者・子ども部会のかかし作りでは、総勢41名の参加者が7体のかかしを作りました。手賀沼トラスト子ども部会の親子が準備・指導にあたり、手際よくかかしが作れました。 7月20日には、手賀沼トラストの大人部会71名が8体のかかしを作りました。 8月17日のかかし祭りには2名の外部参加者と90名のトラスト会員が参加し、投票の結果、外部参加者+子ども部会、大人部会それぞれ3体が選ばれました。後日美味しい新米が贈呈されます。 虫や動物に詳しい自然観察員の渡辺さんから、冬水田んぼに住む虫たちと生態系についての話があり、絵入りの資料を見ながら、子供たちが熱心に聞いていました。
参加対象	一般市民、会員
参加人数	① かかし作り 7月6日 一般参加者6名(大人3名、子ども3名)、子ども部会35名(大人17名、子ども18名)、スタッフ4名 合計45名 7月20日 手賀沼トラスト会員67名、スタッフ4名 合計71名 ② かかし祭り 8月17日 一般参加2名(大人1名、子ども1名) 手賀沼トラスト会員86名、スタッフ4名 合計92名
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>できたぞ！</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>スパイダーマン</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>スイカのかかし</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>投票結果</p> </div> </div>	
参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> *スイカのかかしができた。スイカも食べた。 *チューペットが美味しかった。 *かかし祭りで入賞できなくてくやしい。

企画名	川や沼の水のよごれをはかってみよう！ぷりぷりせっけんを作ろう！	
実施団体	団体名 我孫子市石けん利用推進協議会 問合せ先 我孫子市消費生活センター TEL：04-7185-1469	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・パックテストで手賀沼や川の水の汚れ（COD）を測定し、水質への関心を高める。 ・私たちが使う水は繰り返し使用されていることを発見し、生活の仕方を考える。 ・ぷりぷり石けんを作り、自然界で分解しやすい石けんを身近に感じてもらう。 	
日時	2024年7月14日（日）1回目13:00～14:15、2回目14:45～16:00	
プログラム・概要・ルート等	<ol style="list-style-type: none"> ① 水の汚れの測定にCOD値が使用されることを知り、その測定方法を知る。大堀川・手賀沼・湖北集水路・利根川の水を観察し、汚れをパックテストで調べる。 ② 我孫子市消費者の会制作デジタル教材「手賀沼を美しく」を視聴し、手賀沼の汚れの変遷を知り、我孫子市が石けんの利用を推進している理由を知る。 ③ 使った水の行方考える。利根川の取水口、排水口を地図上にマグネットでプロットし、水は繰り返し使用されていることを知る。 ④ 水を汚さない工夫 ⑤ぷりぷり石けんづくり ⑥ 石けんの優れているところを知る。石けんで新型コロナを退治 	
参加対象	親子（5年生以上は単独参加可）	
参加人数	一般参加37名（大人18、小学生17、中学生1、幼児1）、スタッフ8名（協議会委員6名、市職員2名） 計45名	
 <p>今日はかる水をとったところ ① 柏市大堀川(おおほりがわ) ② 手賀沼観水広場 ③ 湖北集水路(こほくしゅうすいり) ④ 利根川</p> <p>使った水の行くところ、利根川の取水口・排水口</p> <p>よごれをはかるCODを知ろう</p> <p>プリプリせっけんを作ろう</p>		
参加者や実施団体の感想	<p>子ども ・石けんがせんざいよりも肌にやさしかったりで、いいところがたくさんあることを初めて知りました。</p> <p>・水や石けんの事をとてもよく知れてよかったです。これを学校でもいかしたいな、と思いました。</p> <p>大人 ・私たちにとって、とても大切な水。その水を大切に使う方法をあらためて知ることができ、とてもよかったです。</p> <p>・手賀沼が昔汚れていた事、排水の事を子どもと一緒に学べて、良い経験になった。</p> <p>・石けんの良さを知り、これからも石けんを意識して使っていきたいと思いました。</p>	

企画名	調べよう！～マイクロプラスチックはすぐそこに～	
実施団体	団体名 我孫子市消費者の会 問合せ先 加藤マリ子 TEL: 04-7105-5292 Email:kato_mariko@jcom.zaq.ne.jp ホームページ: http://www.abikoshi-syouthisyanokai.net/wp/	
目的	マイクロプラスチックが何から発生するかを知り、身近にあることを体験し、減らしていく暮らしを考えてもらう。	
日時	2024年8月4日(日) 13:30～16:00	
プログラム・概要・ルート等	講師：小倉久子さん(元 千葉県環境研究センター・水質環境研究室長) I. マイクロプラスチックって どんなもの？ II. 【実験】 マイクロプラスチックを探してみよう 自宅周辺で探したマイクロプラスチックらしいもの、講師が採集した検見川浜の砂などを水の入ったビンに入れて、浮かんだものをルーペで観察する。 III. 実験結果の報告 IV. マイクロプラスチックは、どこでもできる V. マイクロプラスチックは、どうアブナイのか、なんでいけないか。 (1) 限りなく小さなプラスチック (2) 添加剤(有害な化学物質)が溶け出す VI. 改めて、(マイクロ)プラスチックの問題を考えてみる VII. さあ、どうする？ 私たち ーできることを考えてみよう！ー	
参加対象	小学生以上(小学生は保護者同伴、中学生以上は単独参加可)	
参加人数	一般参加 23名(大人8、中学生2、小学生13) スタッフ 12名(会員11、講師1) 計 35名	
		
自宅周辺で採集したマイクロプラスチックと思うものや、検見川浜の砂に混じるものをルーペで観察		
マイクロプラスチックの問題を知り、自分ができていることを考え、減プラ宣言！		
代替品の展示		
参加者や実施団体の感想	【減プラ宣言】 48の宣言がありました。 ・おでかけのときはかならずすいとうをもっていく。 ・たわしはへちまをつかおう。 ・ゴミはひろってごみ箱にする。 ・まわりの人によびかける。 ・プラスチックではない製品を作っている企業のを優先して買う。 ・包装の少ない商品を買うよう心がける。 ・植木鉢を陶器にして大事に使う。 ・ラップをなるべく使わないよう努力します。 ・使い捨てのものは買わない。	

企画名	冬水田んぼで稲刈りをしよう
実施団体	団体名 NPO 法人手賀沼トラスト 問合せ先 富澤 崇 TEL: 090-2234-5610 Email: info@teganuma-trust.jp ホームページ: http://teganuma-trust.jp
目的	生態系保全型の冬水田んぼで、田植え・かかし作り・稲刈りを体験してもらおう連続企画の第3弾。みんなで田植えをし、かかしに守ってもらったお米を収穫します。
日時	2024年9月7日(土) 8:30~11:30
プログラム・概要・ルート等	一般参加者と子ども部会は粒すけ米を、手賀沼トラストの会員は黒米を刈り取りました。 稲刈りを終えた子供たちは、虫捕り大会に参加。どれだけ多くの種類を捕まえられるかで競いました。その後、トラストの生態系の循環について勉強しました。 200人を超える参加者で大賑わいでした。
参加対象	一般市民
参加人数	一般参加 64名(大人32名 小学生20名 幼児12名) 農教室大人部会 81名、子ども部会 52名(大人23名 小学生18名 幼児11名)、 スタッフ4名 計201名



稲刈り風景



トラストの蛙

カエルをみわけてみよう!
トラストにいるカエルの「あやうがた」

START!
 吸盤がある

はい いいえ

目と鼻をつらぬく
黒い線がある

目の後ろに
丸い斑がある

はい いいえ

シミレーザル
アマガエル

目の後ろに
茶色の斑がある

はい いいえ

目と鼻先が近くて
顔先は長くない。丸っこい。
黒い縦線が目立たない

ニホンアマガエル

はい いいえ

あずらしいカエルが
あついたら
ここをチェック!

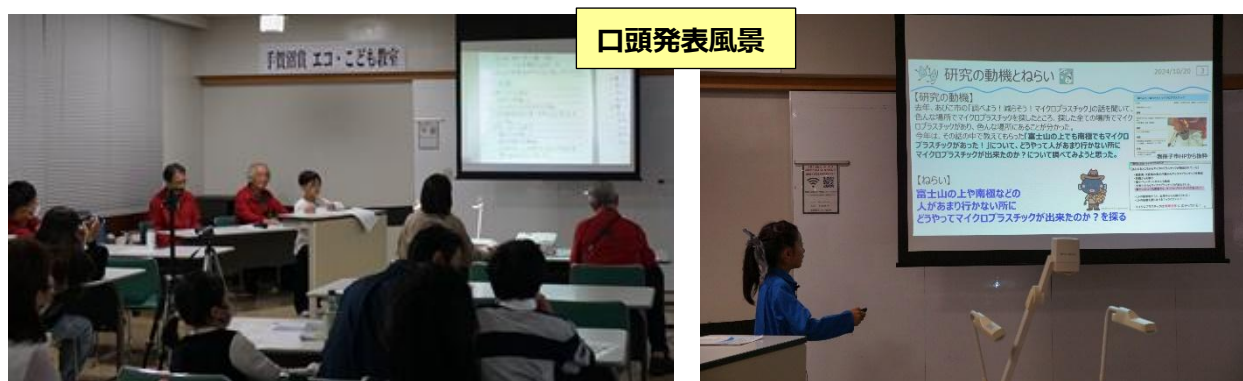
ウツガエル トウキョウダルマガエル

生態系の循環?

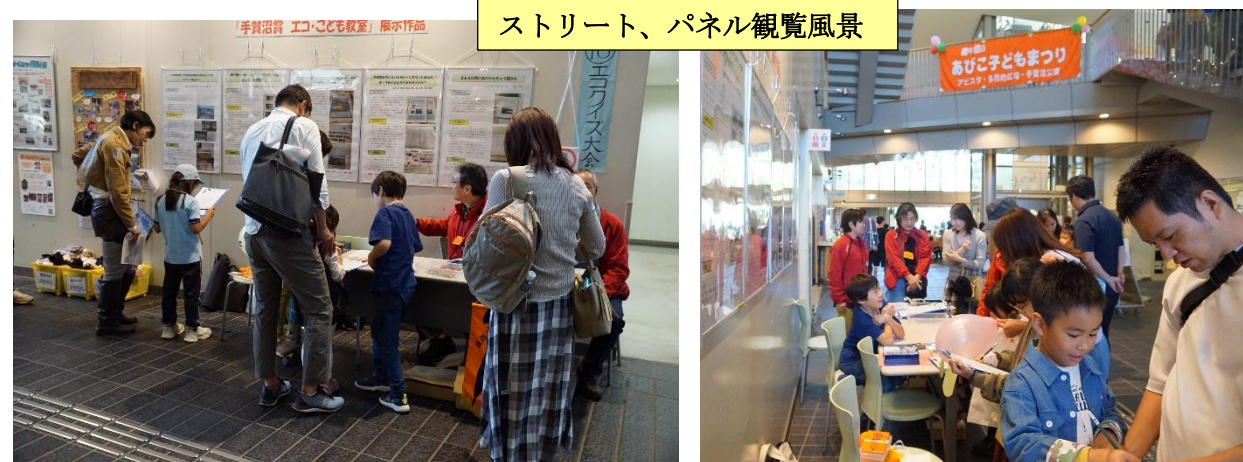
参加者や実施団体の感想	猛暑のなかの稲刈りでした。 子供たちは稲刈り終了後、恒例の虫捕り大会。チームごとに捕まえた種類の多さを競いました。遊ぶだけではなく、田圃をめぐる生き物の勉強もしました。
-------------	---

<p>企画名</p>	<p>川めぐりと木下の史跡散歩</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子の文化を守る会 問合せ先 佐藤 やす子 TEL： 090-8081-9139 ホームページ： http://abikonobunka.sakura.ne.jp/</p>
<p>目的</p>	<p>船からの視察と史跡巡りで、手賀沼の現況を知り手賀沼環境保全を考える機会とする。</p>
<p>日時</p>	<p>2024年10月17日（木）11:15～15:00 集合：印西市中央公民館（11:15）</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>印西中央公民館で参加者に本日の目的と流れを説明し、手賀沼の環境講和を行った。 【環境講話】 「めざそうよ 恵み豊かな 手賀沼」他パンフレットにより当会スタッフから手賀沼の水性植物・水質など現状の環境を解説しました。 約10分 【川めぐり】 印西観光協会の協力で22名が2艘に乗船し、地域史・手賀沼流域の現況を見学。 ルート： 弁天川 ⇒手賀川 ⇒下手賀川 ⇒手賀川 ⇒六軒川の4川めぐり 約60分 【木下の史跡散策】 印西ふるさと案内人協会の協力により、木下河岸の歴史や地域の文化、吉岡まちかど博物館や上町観音堂を見学し、説明を受けました。 ルート： 中央公民館前 ⇒ 木下河岸跡・利根川土手 ⇒ 吉岡まちかど博物館 ⇒ 貝化石灯籠 ⇒木下貝層 ⇒ 上町観音堂 ⇒ 木下駅解散 約105分</p>
<p>参加対象</p>	<p>我孫子市民及び近隣自治体市民</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 19名（大人19名）、スタッフ3名（会員3名） 計22名</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p>参加者は、2艘の船に分乗し、手賀沼流域を見学</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>船中で説明を聞き、弁当を食べました</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>利根川の堤防に上がり、江戸時代における木下の繁栄や地名の由来を知りました。</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p>木下貝層の岩を使って製作した灯籠が、当時のまま残っています。</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>【参加者の感想】 川めぐりが住んでいる近くにあり良かった。船頭の説明やガイドの案内が、分かり易く楽しめた。お弁当が美味しかった。実際に歩いてみて地域の歴史や自然が分かった。スタッフも親切だった。このような企画に感謝している。 【スタッフの感想】 強風で予備日に実施しました。天候に恵まれ、水環境や木下の史跡を巡り、地域の理解を深める一日でした。余裕のある時間設定や申込方法の改善も検討課題です。</p>

企画名	手賀沼賞 エコ・こども教室
実施団体	団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 野倉元雄 TEL : 090-1731-3147 Email : m.nokura@jcom.home.ne.jp
目的	我孫子市の小・中学校の生徒を対象に、教育委員会学校指導課主催の「科学作品展」の中から選ばれた「手賀沼賞」受賞作品を取り扱った公開教室の企画。 子供たちに研究作品等の発表機会を設けると共に、多くの人に作品の成果を広める。
日時	パネル展示 : 10月6日～20日 9:00～15:00 アビスタストリート 口頭発表教室 : 10月20日(日) 10:00～12:00 アビスタ第一学習室 エコクイズ大会 : 10月20日(日) 9:30～15:00 アビスタストリート
プログラム・概要・ルート等	<ul style="list-style-type: none"> ■「科学作品展」で選ばれた「手賀沼賞」受賞作品から、環境レンジャーが発表してもらう作品を5点選出 ■あびこ子どもまつりに参加し以下を実施 <ol style="list-style-type: none"> (1) 手賀沼賞受賞者による作品の口頭発表、コメンテーターによるコメント、表彰 (2) 発表作品パネルのアビスタストリート展示と、作品内容に基づくクイズに答えることで、作品の理解を多くの人に広め、深める。クイズ参加賞としてノベルティを配布
参加対象	どなたでも
参加人数	<ul style="list-style-type: none"> ◆発表会： 一般 23名、コメンテーター 3名、スタッフ 5名 ◆ストリート観覧(20日のみ) 総参加者273名(内クイズ実施者182名)、スタッフ10名



口頭発表風景



ストリート、パネル観覧風景

参加者や実施団体の感想	<p>第一に子どもたちの夏休みの作品のレベルの高さに毎年のことながら感心させられる。 第二に発表も事前準備がよく、落ち着いて元気よくできている。 第三に終わった後の晴れがましくもやり切った充実感の溢れる表情が素晴らしい。 立派に成長していくことを期待できる。</p>
-------------	--

<p>企画名</p>	<p>岡発戸・都部の谷津で晩秋の生きもの探し</p>	
<p>実施団体</p>	<p>団体名 岡発戸・都部の谷津を愛する会 問合せ先 田島 友昭 TEL・FAX：04-7188-8778</p>	
<p>目的</p>	<p>温暖化でもたくさんの生きものとふれあい、谷津の自然の豊かさを知ってもらう。</p>	
<p>日時</p>	<p>2024年11月9日（土）9:30～12:00</p>	
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>講師：柄澤保彦さん（自然観察・講師・保全活動・トンボ研究等多方面で長年活躍中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷津内での注意を説明し出発 ・柄澤講師から外来種について説明 ・ガマの穂の前で、花粉いっぱい穂先を見て、因幡の白兔の話 ・畦道を歩くと多くのバッタ（イナゴ）が現れる ・谷津内で、オオスズメバチの巣の駆除後で、生きているオオスズメバチを観察 ・カラスウリの赤い実、種は打ち出の小槌の形で金運のお守り 	
<p>参加対象</p>	<p>小学生以下は親子参加</p>	
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 13名（大人8名、幼児1名、小学4名） スタッフ4名（会員2名、講師1名、手伝い1名） 計17名</p>	
 <p>外来種の説明</p> <p>トンボの持ち方</p> <p>ぼくも持ちたい</p> <p>変な虫だなあ！</p> <p>オオスズメバチとったぞ！</p> <p>ぼくの好きな虫いないかな</p> <p>種は打ち出の小槌！</p>		
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お天気でよかった。トンボを見つけた。（小学生） ・スズメバチを触った。オスは刺さないと言われた。（小学5年生） ・紅葉が少なく残念でした。もう少ししたら、また来てみたい。（お母さん） ・谷津の広さにびっくりした。（初参加の親子） 	

<p>企画名</p>	<p>鳥凧制作と凧揚げ</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子市環境レンジャー 問合せ先 野倉元雄 TEL : 090-1731-3147 Email : m.nokura@jcom.home.ne.jp</p>
<p>目的</p>	<p>「鳥の街我孫子」に相応しい鳥凧作りを通して、子供たちにもものづくりの楽しさを体験してもらおう。鳥凧作りで凧が上空に舞い上がる仕組みを子供たちに知ってもらい、実際に揚げてもらい、冬休みには自分で揚げて楽しさを体感してもらおう。</p>
<p>日時</p>	<p>2024年12月7日(土) 12:30~15:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>※ 鳥凧制作には竹ひご、ポリ袋やストローなどをカットする準備工程があり、環境レンジャーのスタッフが事前にキットとして参加組数分を用意する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 鳥凧の仕組みと手順の説明 ② 竹ひごの長さの違いと部位の説明、竹ひごの組み合わせによる強度調節、ビニールシートへの縫い付け又はセロテープによる取り付け指導 ③ 鳥の頭部の作成と翼部分のビニールにマジックペンで羽根の様子を書き込む。 ④ 凧糸の取り付け ⑤ 制作した凧を手賀沼親水広場(多目的広場)で揚げる。凧揚げの未経験者ばかりなのでレンジャーが、凧を手放すタイミング、糸の繰り方、風の受け方などを指導。
<p>参加対象</p>	<p>小学生 10名(小学生は保護者同伴)</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 13名(大人7名、小学生6名) スタッフ 5名(会員4名、手賀沼課1名) 合計 18名</p>
<p>実施場所</p>	<p>手賀沼親水広場 水の館 研修室</p>
<p>親子が力を合わせて鳥凧の組立てをします。 身長と同じくらいの大きな凧の完成です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div> <p style="text-align: center;">みんな上手に飛ばすことができました。</p>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一家そろっての参加や、孫のために習得したいと一人参加の大人もいた。 ・ 2回目の企画ながら、キットの準備が入念であったこと、作成済みの鳥凧の実物展示が理解の手助けとなった。骨組みのジョイント部分など難しい部分にレンジャーがサポートに入ったことなどから、ほぼ予定時間に制作が完了できた。 ・ 屋外での試し揚げではレンジャーが風向きを判断し、凧を持つ人と凧糸を持って揚げる人の位置を指示し、凧を手放すタイミングや凧糸をクイクイ曳いて凧を揚げる要領を指導したことで、全員が高くまで揚げる事ができた。 ・ 終了解散の通知後も子供たちが夢中で凧揚げを続ける様子に、感動を覚えた。

<p>企画名</p>	<p>手賀沼親子ふれあい探鳥会 ～親子で手賀沼周辺の山野の鳥と水辺の鳥を楽しもう～</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 我孫子野鳥を守る会 問合せ先 徳重 玲子 TEL: 090-7720-1518 Email: tozannbiyori@yahoo.co.jp ホームページ: https://abikoyacho.org/</p>
<p>目的</p>	<p>手賀沼流域の市民に「手賀沼周辺の探鳥の楽しさ」を知って頂き、野鳥観察を通して市民同士の交流を図るとともに、次世代層に自然環境の大切さを体感して頂きます。</p>
<p>日時</p>	<p>2024年12月14日(土) 9:00～12:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>当日の天気は快晴で絶好の探鳥日和でした。 朝 手賀大橋近くの交通事故の影響を受けて、数家族が集合時間に間に合わないハプニングもありましたが、約10人を1つの班として4班の班編成としました。 探鳥コースは 手賀の丘公園(カワセミ池、じゃぶじゃぶ池、桜山等)～手賀沼(染井入橋)～手賀の丘公園。 公園内は風も無く穏やかに歩きましたが、やはり沼に出ると風が冷たかったようです。公園内の「カワセミの池」では期待のカワセミだけでなくキセキレイを観察できた班もありました。 沼に出ると冬の水鳥もある程度観察できたので参加者は満足されたようです。戻ってから鳥合わせをし、野鳥カードと缶バッジのプレゼント。 子供はもちろん大人の方まで真剣にプレゼントを選ばれ、とても喜んで頂きました。</p>
<p>参加対象</p>	<p>手賀沼流域市民を中心に、広域の一般市民も対象にします。</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 37名(大人24名、小学生13名) スタッフ 11名(会員11名、内講師4名、手伝い7名)</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>出発前にコースの説明です</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>たくさんの市民の方が参加されました</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>広ーい田んぼの中を歩きます</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>あぜ道で見つけたのはアオサギです</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>定員40名のところ、44名の参加申し込み。お子様のインフルエンザにより2家族7名がキャンセルになりました。当日は、37名が参加され、好天にも恵まれ、45種の野鳥が観察できました。参加者の皆さんも野鳥観察の楽しさを手賀沼の自然環境を体感していただけたと思います。</p>